

区社協だより ひらのめ

〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター
(にこにこセンター)
☎06-6795-2525
FAX06-6795-2929

おたがいの
人権守って 明るい平野区



平野区人権啓発推進協議会

手作りの温かさがなにより ～わたしたちの町の“祭り”～

「祭り」には、昔から伝統的に行われているものもありますが、その時代や地域にあった催しとして行われているものも多くあります。平野区内でも、各地域でさまざまな催しが開催されています。春の足音が聞こえ、外の風も心地よく感じるこの三、四月にも、各地で地域の人々のふれあいを目的とした、住民手作りの楽しいお祭りが催されました。

瓜破さくら祭 各団体が協力して、楽しんで

瓜破社会福祉協議会

さくら満開の去る四月六日、瓜破社協主催、瓜破連合町会後援により、さくら祭が開催されました。前日の雨のため、当初予定していた瓜破霊園グラウンドは使用できず、隣の広場での開催となりました。当日は小春日和のよい天気となり、たくさんの方で賑わいました。この「さくら祭」は、年度当初より計画し、何ヶ月も前から準備を進めてきた行事で、地域内の各町会や団体の参加を得て、バザーや模擬店が並びました。会場は、さくらの花びらの舞う中、コロッケやトウモロコシ、おでんなどのいい香りが漂い、綿菓子や当て物に並ぶ親子の姿が見られま

ました。この催しで、地域の各団体が参加し、出店側も楽しんでできたことが一番の成果」と、社協会長は言います。これを機にますます地域内のつながりが深まっています。ではないでしょうか。



どのお店も昼過ぎには完売する人気でした。



沖繩の迫力ある演舞に子どもたちも、熱心に見ていました。

ふれあい広場“友遊”パーティ2 春休みもちつき大会

自由な雰囲気自然なふれあいに

瓜破北社会福祉協議会

昨年十一月に瓜破北社協において、「ふれあい広場友遊」が開催され、お年寄り子どもたちとの交流や福祉機器の展示・体験などが行われました。その二回目として、三月二十五日、府管住宅集会所において、もちつき大会が開かれました。あいにく、時折小雨の降る天気でしたが、春休みとあって、子どもたちもたくさん参加し、会場は



つきたてのおもちをほおぼりながら、あんこをべたべた、きなこをばらばら、一生懸命作ります。



手伝ってもらいながら、子どもたちもおいしいお餅作りに貢献。

おらが町の芸術展「出品祭」

地域は芸術家の宝庫

長吉出戸社会福祉協議会

三月三十日(日)、出戸小学校の体育館は、地域の皆さんの手作りの作品や地元に残る古い農具などが一面に展示され、華やかな会場となりました。この日は長吉出戸社協主催の「出品祭」が開催され、会長の「出戸地域はひとつ」というあいさつに象徴されるように、多くの人が協力し、また会場を訪れました。体育館の中には、地域の方々の絵画や手芸品、書道や生け花の作品、写真や竹細工などさまざまな手作りの品が並び、地域は芸術家の宝庫であると感ぜさせられます。屋外では、消防署の地震起動車による地震の体験や車いす体験が人気でした。また、日頃高齢者食事サービスやふれあい喫茶の活動に関わるボランティアによって、それぞれ、飲み物や食事を提供すると共に活動のPRを行いました。



ステージ上の手作り大凧が目を引く会場。



子どもたちも竹とんぼ作りに挑戦。

「寄付ありがとうございました。」



平成十四年十二月から平成十五年三月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。

◆善意銀行への預託◆
《金銭預託》橋口頼通、福井正雄、奥山正和、社団法人倫理研究所大阪東南支所平野ブロック、くらしのくふうフェスティバル喫茶コーナー収益金
《物品預託》ミシンcub(中古ミシン九台)
(順不同、敬称略)

出品という形で多くの住民が参加し、各団体も協力し、また地域内の作業所も参加し、まさに地域ぐるみの温かい催しになりました。

出会い・つながり・助けあい ～送迎サービスボランティア活動～

**ボランティア
ビューローだより**
☎6795-2200

「病院に行く交通手段がないので困っている」
「久しぶりにお墓参りに行きたい」といった声を受けて送迎サービスがスタートしました。
利用が年々増加していますが、もっと多くの方に知ってほしい、また、活動の担い手であるボランティアも増えてほしいと期待が高まっています。

車いす利用の方のおでかけ応援

平野区社会福祉協議会では、平成十年九月より、車いす利用の方の外出の応援を行っています。
車いすがないと外出できない方のために、そのまま乗り込める車いす対応自動車の貸し出しや運転者がいない場合には、ボランティアによる運転や介助も行っています。
利用件数が年々増えていること(図1)や、家族で外出する場合にも対応できるよう、現在定員三名の軽自動車と五名乗りの普通車の二台で運行しています。

一緒に元気を届けてみませんか?

高齢者や障害を持つ方への運転介助サービスボランティア募集!
いろんな思いをもったみなさん、運転や介助のボランティア活動を始めてみませんか?

たくさんの人と
出会いたい

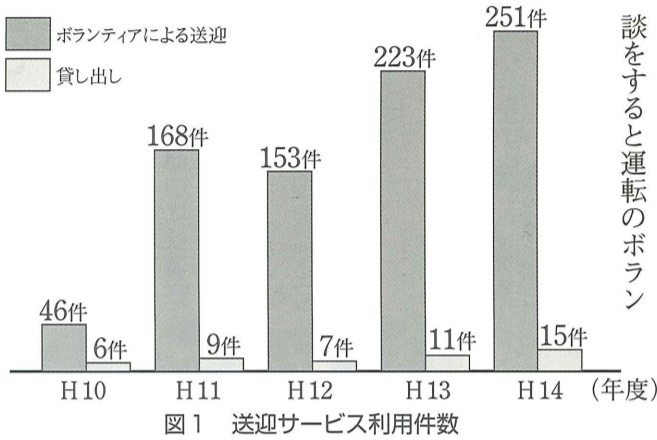
車の運転が
好き

ヘルパーの資格を
生かしたい

自分の
やりがいを
見つけたい

毎日ではできないけど
空いた時間なら...

- ◇ 活動内容: 運転、介助など
- ◇ 活動日時: 月～土曜日 9:00～17:00
- ◇ お問い合わせ先: ボランティアビューロー ☎6795-2200
- ◇ ボランティア定例会: 偶数月第3土曜日 14:00～
- ◇ 次回: 6月21日(土) 車いす介助の方法を勉強します。



車いすのまま、らくらく乗り込めます。

四月から偶数月の第三土曜日に定例会を開催するようにになり、普段の活動で困ったことなどを情報交換する場になっているようです。四月の懇談会では、利用者の参加もあり、「運転している目線と車いす固定の席からの目線が違う」ことや「道を歩いているときに、話のほう揺れる」などの普感を感じていることを話し合いました。



図2 送迎サービス利用内容(平成14年度)

送迎サービスを利用するには...

- ◇ 対象: 平野区にお住まいで、外出に車いすを必要とする方で、交通機関の利用が困難な方
- ◇ 内容: ①運転手や介助者がいない場合、ボランティアにより運転・介助など
②車いす対応自動車の貸し出し
- ◇ 利用日時: 月～土 9:00～17:00
平日のみの一泊貸し出し可。
- ◇ 利用料: 1回(1日)1000円。ただし、40kmを超える場合は、10kmごとに100円加算。
- ◇ 利用方法: 本人またはご家族から平野区社会福祉協議会に申し込みをしてください。担当者が訪問し送迎サービスの説明等を行います。希望日などをお聞きし、必要に応じてボランティアを探します。

お問い合わせ先: 平野区社会福祉協議会
TEL: 6795-2525

平成十年に事業がスタートしてから通院での利用が多く、行楽などの利用はまだまだ少ないのが現状です。(図2)
利用者からは「墓参りに行きたい」「遠方に遊びに行きたい」「外泊で

「もっと行楽などに利用して」

共同募金は、大阪府共同募金会を通じて、社会福祉施設・団体並びに平野区社会福祉協議会に配分され、地域福祉活動に役立たせていただきます。

集まれ! ボラちゃん講座

ボランティア啓発講座

自分の身近なところにいろんな人が住んでいます。みんなどんな思いで地元ひらので暮らしているのでしょうか?お年寄りや障害を持つ方など、本人やその家族のちょっとした思いを理解してくれる人が増えることでみんなが住みやすくなります。

今すぐ活動はできなくても、まずは知ることからはじめてみませんか?

	日時	内容	講師
1	7月25日(金) 13:30～15:30	いい出会いは聞き上手から。	関西カウンセリングセンター カウンセラー 宮平 満枝氏
2	8月1日(金) 13:30～15:30	みんな、いろんな思いで暮らしています。	区内施設職員
3	8月8日(金) 13:30～15:30	身近な気づきが大切。	京都光華女子大学 石井 有里子氏

◇ 場 所 にここセンター (〒547-0043 大阪市平野区平野東2-1-30)

◇ 定 員 30名程度

◇ 申し込み はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・希望動機をご記入の上、上記「ボランティア啓発講座係」までお申し込みください。

※講座終了後、「ボランティアちょこっと相談日」を設けます。
(活動のご紹介や車いす体験などを実施します。)

